

「海の恵みと名水のまち生地」

概 要	
学び支援者 (敬称略)	黒部観光ボランティアの会 代表 米屋 清美 (松野 均、松野 勢津子、蛇沢 道雄、四十物 直之) 伏木海上保安部職員、皇國晴酒造(株)会長 岩瀬 新二 その他黒部市の方々
主 催	富山県、日本海学推進機構
後 援	黒部市
協 力	伏木海上保安部
日 時	2010年10月2日(土) 9:00~15:00
場 所	黒部市生地地区 清水巡り、皇國晴酒造、漁業資料館、生地鼻灯台、生地台場 謙信手植えの松、四十物昆布
受講者数	18名

9:00

黒部市コミュニティーセンター集合。
受付、オリエンテーション。

9:30

「生地の紹介」

講師 松野 均 氏

(くろべ漁業協同組合 組合長
黒部観光ボランティアの会会員)



10:10

まち歩き出発。^{しょうず}清水めぐり。
案内：松野 勢津子・蛇沢 道雄 氏



背戸川の川底からは、わき水が出ています。↓



皇國晴酒造見学。

解説：岩瀬 新二 氏（皇國晴酒造 会長）

生地の名水を使用した酒造り。

普段は見れない酒蔵を案内していただきました。



漁業資料館

地引き網の模型や漁具の展示の他に、北洋漁業
や北方領土の資料も展示。

富山県は、北海道に次いで北方領土からの移住者
が多い。



12:20

コミュニティーセンターにて昼食。

「黒部の海の幸を使ったお弁当」



13:30

生地鼻灯台 見学。

解説：伏木海上保安部職員

特別に公開していただき、灯台の役割、生地鼻灯台の特徴について解説していただきました。



天気も良く、富山湾ごしの能登半島も見えました。灯台からの眺めも素晴らしい。

14:00

生地台場

富山県指定文化財。江戸時代末期、嘉永3年(1850年)8月に加賀藩が外国船の来訪に伴い、海防のため領内海辺13カ所に大筒台場を築造することを決定。越中国では伏木・放生津(現新湊市)・生地の三ヶ所に設置。現在は、その姿が復元されています。

謙信手植えの松を車中から見学。



14:20

四十物昆布見学。

解説：四十物 直之 氏
(四十物昆布 社長
黒部観光ボランティアの会会員)

昆布の産地・種類等について説明。



とろろ昆布の削り方の説明。途中、削りたての昆布をいただきました。

15:00

コミュニティーセンターにてふりかえり。

解散。

受講者の声（アンケートより）（回答17人）

1. 印象に残った活動とその理由**ア、生地についての講義**

- ・生地は清水だけの街かと思っていましたが歴史もあり日本の表玄関とは驚きでした。
- ・生地の街にある様々の歴史的遺跡には、感動しました。

イ、名水めぐり（皇国晴酒造・漁業資料館含む）

- ・酒造会社の中は初めての見学したが、一寸最近の食品工場と違うなと感じた。
ガイドさんの説明案内は素敵でした。
- ・大変沢山の清水があるということを知りました。
- ・名水の各地を実際に見れて、やはり実物で確かめるのが一番である。
(残念ながら私には各名水の味は判断し難い)

ウ、昼食

- ・ボリュームもあり良かった。
- ・料理の数が多く味付けも良くおいしくいただきました。

エ、生地鼻灯台

- ・100年前に開発されたランプを使用している事に感心。
(水銀を使っている事、手作りのレンズ等非常に勉強になりました。)
- ・123段の階段、こわかったけれども海の景色が非常にきれいであった。 無人灯台。
- ・いつも外部からしか見ていない灯台を始めて内部頂上まで見学。よい体験をさせて貰いました。

オ、生地台場

- ・生地台場については数年前に修理して大変きれいになった。
- ・放生津にもあるとは知らなかった。

カ、謙信手植えの松

- ・ガイドさんの説明で直近で見たくなりました。
- ・手植えの松は大変元気、育っているので一安心。

キ、四十物昆布

- ・ラウス、利尻島、日高等の昆布の産地があることが理解できた。
- ・なにげなく使っている昆布の歴史が聞けたし、おにぎりなどうれしい心づかいもあり、買いたくなりました。

ク、参加者との交流

- ・今後も機会があれば、交流をかさねたい。

ケ、その他

- ・ガイド・スタッフの皆様が素晴らしかったと思います。
- ・全般を通じて大満足でした。個人的にですが、自分の日記にしっかり書き留めたいと思います。

2. 全体を通しての感想

- ・県民でありながら知らない場所、名所を知る機会となってよいと思う。
- ・生地の清水、歴史を教えられ生地といえば YKK しか頭に思い浮かばなかったが天候にも恵まれ参加してよかった。
- ・ボランティアの方の説明 とてもよかった。有難うございました。